










第5回 瀬戸地区地域座談会報告

日時	平成29年10月10日(水) 19:00 ~ 21:00		
テーマ	移動手段 ~助け合いで繋がる移動支援 地域コミュニティ ~地域で安心して暮らす為の見守り体制作り		
会場	瀬戸公民館	参加者数	18名
<p>今回の座談会は、全体を2つにわけ「助け合いで繋がる移動支援」と「地域で安心して暮らす為の見守り体制作り」の2つのテーマについて意見交換を行っていただきました。</p> <p>「助け合いで繋がる移動支援」について意見交換を行っていただいたグループでは、「近所付き合いを大切に、困った時に隣の人に乘せて行ってもらう」「移送サービスの情報を一覧表にして各家庭に配布する」「地域で有償サービスをつくる、チケット制、ドライバー登録制にして始める」「青空市場、販売所を歩いて行ける場所に所々作る」「バスの便、病院に送迎バスを出してもらおう」「民間企業やNPOと協力する」などの意見がだされました。</p> <p>また、「地域で安心して暮らす為の見守り体制作り」については、「各家庭に民生委員の連絡先、婦人会・老人会、町内会等の勧誘チラシを配布し情報を伝える」「自治会行事で勧誘をする」「回覧板制度の見直し」などの活発な意見がだされました。</p> <p>瀬戸地区は、近隣との助け合いやボランティア活動等が元々ある地域で、人の活動を強みとしており、この座談会をとおして「瀬戸地区を地域で良くしていこう」という想いをみんなが再確認し共有できた座談会となりました。</p> <p>お忙しい中、参加して頂いた地域の皆様、本当にありがとうございました。</p>			
			
			
			




第4回 瀬戸地区地域座談会報告

日時	平成29年9月11日(月) 19:00 ~ 21:00		
テーマ	瀬戸地区の地域コミュニティづくり ~高齢者が安心して暮らせる街づくり~		
会場	瀬戸公民館	参加者数	21名
<p>今回は、これまでの座談会の分析結果報告を行い、今後の進め方(課題解決のための方法)を参加者で意見交換しました。</p> <p>これから地域で取り組む活動として、</p> <ol style="list-style-type: none">①子どもからお年寄りまで地域の方が集える居場所をつくる。②安心して暮らせる街は若い世代と支えあっていく街である。青年団の再結成を進めるとともに、既存のイベントは、現役世代が参加しやすい日時に設定する。③町内会、老人会、婦人会活動が高齢化して存続の危機にあるため、若い世代に参加してもらうための周知活動を行う。 <p>などの意見が出されました。</p> <p>また、地域で安心して暮らして行くために「若い世代に地域に入ってもらふ必要がある。そのために、PTAの会などに出向き、若い人の意見を聞くことも必要ではないか」「空き家などを活用してサロンを開き、昔遊びや趣味の会の開催などをしてみてはどうか」などの意見もでました。「人」が宝の瀬戸地区で、その強みを活かしつつ、若者とも協力していくことで、地域のコミュニティを再構築するために、地域一丸となって、何に取り組んでいかなければいけないかということについて、意見や考えを共有することができました。</p>			
			
			
			

第3回 瀬戸地区地域座談会報告

日時	平成29年6月22日(木) 19:00～21:00		
テーマ	瀬戸地区の課題抽出 ～困りごとから解決への役割を考えよう～		
会場	瀬戸公民館	参加者数	24名
<p>3回目にして初めて天候に恵まれました。今回新たに参加された方も多く、いつもとは違った構成(5グループ)で意見交換を行いました。</p> <p>参加者の方より「現在は介護が必要になっても地域にグループホームなどの施設があるため、入所することができるが、将来は高齢者の数が増えて入所できなくなる可能性が高い。住み慣れた地域で暮らすため、今以上に施設の整備をしてもらいたい。」といった意見や「地域での行事に若い世代が参加しないことも問題である。」といった意見が出ました。</p> <p>ほかには、同じ瀬戸地区であっても「金融・医療機関が全く存在しないエリアがあるため、高齢者の方や障がい者の方が生活に支障をきたすことがある。」といったことが課題に挙がりました。</p> <p>瀬戸地区の魅力として、近隣との助け合い、ボランティア等の元々ある《人の活動》を強みとして、【地域の課題を行政や社協だけに頼るのではなく、自分や家族・町内でも助け合っていかなければならない。】といったことが挙げられ、今後の地域のあり方について改めて話し合うことが出来た座談会となりました。</p>			
			
			
			

第2回 瀬戸地区地域座談会報告

日時	平成29年4月17日(月) 19:00～21:00		
テーマ	福祉資源マップづくり ～瀬戸地区の福祉資源を掘り起こす!～		
会場	瀬戸公民館	参加者数	19名
<ul style="list-style-type: none">・ 前回と同じく天候も悪い中での開催でしたが、新たにご参加くださる方もおり、4グループに分かれて意見交換を行いました。・ 島田島では廃校となった島田小学校で“みなさんと島民運動会”を開催し、県外にいる家族も参加している。グランドゴルフも地区内の小学校で行っており、住民の健康維持のための拠点や多世代交流の場所となっている。また、高齢者のサロン〔居場所〕や親子ひろば〔次世代への支援〕も公民館や集会所などで開催されている。・ 地域の魅力としてお墓参りを毎日する方が多いという特徴があり、お墓参りに行くと住民同士顔を合わせることも多く、情報交換や井戸端会議をするだけに留まらず、しばらく顔を見ないと声をかけに行くなど見守り機能もある。地元の婦人会やボランティア団体などの活動も活発である。そういった《人の活動》こそが瀬戸地区の【資源】であり、この地域の『宝』であるといったことがあげられました。			
			
			
			

第1回 瀬戸地区地域座談会報告

日時	平成29年3月13日(月) 19:00 ~ 20:40		
テーマ	瀬戸地区らしさってなんだろう(瀬戸地区の魅力発見)		
会場	瀬戸公民館	参加者数	26名
<ul style="list-style-type: none">天候も悪く、平日の遅い時間帯の開催でしたが、大勢の方にご参加いただき、6グループに分かれて意見交換を行いました。住んでいるとなかなか気づきにくい地域の魅力も他の参加者の方からの魅力を聞いて、「ほうじゃほうじゃ、ほれがあったわ」「ほんなんあったんじゃ」など地元の魅力を再発見する機会となりました。瀬戸地区の良いところとしては、人との繋がり【絆】、美味しい魚【食】、忠魂碑【歴史】、一本釣りのテグス【発明】、小鳴門海峡や海【自然】など数多く出ました。最後は参加者全員で『I LOVE 瀬戸♥』のかけ声で集合写真を撮り、大盛況のうちに終了しました。			

